

第50回群馬脳卒中医療連携の会 本会議 議事要旨

- ◇日 時 令和8年7月14日(火) 19時00分～20時30分
- ◇形 式 対面開催
- ◇場 所 K'BIXまえばし福祉会館（前橋市総合福祉会館）多目的ホール
- ◇出席者 236名（別紙参照）
- ◇共 催 群馬大学医学部附属病院・沼田脳神経外科循環器科病院・伊勢崎市民病院
伊勢崎佐波医師会病院

開会挨拶を公立館林厚生病院 院長 松本正弘より行い、議事進行を群馬大学医学部附属病院 脳神経外科 准教授 藍原正憲が行った。また、閉会挨拶を沼田脳神経外科循環器科病院 脳神経外科 赤尾法彦よりいただいた。

1. 開会挨拶

公立館林厚生病院 院長 松本 正弘

本日はご多用の中ご出席いただきありがとうございます。本会代表世話人を務める、朝倉健先生が今年の5月27日に急逝されました。本来であればこの会も朝倉先生より開会のご挨拶をしていただく予定でしたが、代わりにご挨拶させていただきます。まず、朝倉先生に哀悼の意を表し黙祷を捧げたいと思います。（一同起立、黙祷）本会は朝倉先生の強いリーダーシップのもと、2007年に前橋地区を中心とした前橋日赤医療連携の会として発足しました。その後、2009年に群馬脳卒中医療連携の会に発展し、2011年には群馬県統一の連携パスの運用を開始するなど、今日まで歩みを進めて参りました。他の都道府県では個々の医療機関単位での連携が主体であり、2020年に脳卒中循環器病対策基本法が制定され、本会が先駆けて広域的な医療連携を行ってきた重要性が、国の医療制度としても再認識されることとなりました。群馬県におきましては、朝倉先生の先見の明により基本法制定以前から統一された医療連携体制が構築されており、基本法施行後も円滑に移行することができました。本会が現在の姿であるのは、朝倉先生の功績にほかなりません。このかけがえのない連携の輪を今後発展・継続させていくことが私たちの使命であると考えています。皆様には、引き続き本会の運営に多大なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2. 一般演題

座長：群馬大学医学部附属病院 脳神経外科 准教授 藍原 正憲

(1) 脳卒中地域医療連携パスの見直しについて

前橋赤十字病院 地域医療連携課長 板倉 孝之

脳卒中地域医療連携パスの見直しについて協議を行った。特に意見等はなし。

(2) 2025年度計画管理病院実績報告

前橋赤十字病院 リハビリテーション科技師長 水野 剛

2025年度におけるパス適用患者数、疾患別実績、疾患別集計、疾患・重症度別集計、疾患ごとの平均在院日数、連携先受け入れ実績、連携病院終了者の退院先について発表がされた。

(3) 連携病院報告

① 演題：『脳卒中地域連携パス実績と群馬県立障害者リハビリテーションセンター利用を支援した症例の報告』

演者：老年病研究所附属病院 作業療法士 須田 敏幸、社会福祉士 須藤 響子

病院概要や、2023年4月～2025年12月に入院した脳卒中パス適用患者の実績について報告された。また、群馬県立障害者リハビリテーションセンターの概要と、その利用を支援した症例について発表された。

② 演題：『当院の実績報告』

演者：東邦病院 理学療法士 若旅 風沙

病院概要や回復期リハビリテーション病棟の概要をはじめ、R3～R5年度の期間における脳卒中地域連携パスの受け入れ実績（重症度別・年代、FIM利得、バリエーション）について報告された。また、トイレ自立への取り組みについて、院内で活用されているフローチャートの説明や、退院支援の取り組みについて発表された。

(4) 脳卒中サロンについて

公立館林厚生病院 院長 松本 正弘

脳卒中サロンについて、専門職が運営に関与し脳卒中患者の社会参加やQOL向上支援を目的とするものと説明され、公立館林厚生病院にて開催された事例を交えながら運営について発表された。

(5) 「脳卒中患者の自動車運転と支援についての一次調査」について

公立館林厚生病院 院長 松本 正弘

群馬県作業療法士会及び日本作業療法士協会において実施している「運転と地域移動支援に関する実態調査」について、一次調査の協力が仰がれた。

(6) 嚥下障害の診療に関するアンケートについて

群馬大学医学部附属病院 リハビリテーション科 助教 伊部 洋子

地域における嚥下障害に対する評価・支援体制の現状把握および今後の連携強化を目的とした、アンケート調査の協力が仰がれた。アンケート結果の一部（嚥下障害診療の有無と内容、アピールポイント）については「ぐんま摂食嚥下MAP」として群馬大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援 センター（ぐんまのうしん）のホームページ掲載を予定している。

(7) 第50回世話人会報告

前橋赤十字病院 地域医療連携課長 板倉 孝之

世話人会が6/2（火）18：30からWEBにて開催された。

① 今回の本会議の内容について

協議を行い、決議された。

② 協力病院であった国立病院機構沼田病院について

国立病院機構沼田病院が6/1をもって閉院となった。これに伴い、本会からの退会が承認された。

③ 事務連絡

本日計画管理病院にぐんまの脳卒中ノートを配布予定。

3. 特別講演

演題：『脳卒中患者の自動車運転について』

演者：群馬大学医学部附属病院 リハビリテーション科 助教 伊部 洋子 先生

群馬大学医学部附属病院 リハビリテーション科 助教 伊部洋子先生をお招きし、「脳卒中患者の自動車運転について」貴重なご講演をいただいた。

4. その他 特になし

5. 次回当番病院挨拶

黒沢病院 脳卒中センター長 小倉 丈司

次回当番病院は、高崎総合医療センター・公立藤岡総合病院・公立富岡総合病院・黒沢病院となっております。日時は10月20日で場所は本会と同様です。皆様ご多用かと思いますが、お集まりいただければと思います。よろしくお願いいたします。

6. 閉会挨拶

沼田脳神経外科循環器科病院 脳神経外科 赤尾 法彦

本日は第50回という記念すべき会にお集まりいただき、本当にありがとうございました。本会を振り返り、計画管理病院から前橋赤十字病院、連携病院から老年病研究所附属病院・東邦病院からお話しいただきました。脳卒中サロンについて、公立館林厚生病院松本先生からお話しいただき、当院でも参考にしていきたいと思っています。特別講演として、伊部先生から熱いお話をいただき、自動車運転というのは非常に社会的な関心の高い領域のため、勉強になりました。最後に、朝倉先生の訃報を聞き、皆さん大きな喪失感に襲われていることと思います。朝倉先生の人柄を一言で言うと、まさに連携という言葉に凝縮されています。人と人との繋がりを大事にする方だったと思っています。これからもこの会は続きますが、人と人が手を取り合って、一つの困難な問題を解決していくこの会の姿勢は、受け継いでいかなければいけないと思います。本日50回目の本会議が無事に終了でき、ありがとうございました。本日は皆さんお疲れさまでした。